

友好協会とのコラボ

上小学校英語教育 いっそう楽しく

上小学校校長 中村克己

2020年度より、新学習指導要領が完全実施となることを踏まえ、上小学校では新たな学力観と評価のあり方についての学習を進めるとともに、学力向上や指導法の改善に向け、職員間で話し合い、試行錯誤しながら英語教育を進めてきました。

そのような中、秦野パサデナ友好協会にご支援・ご協力をいただくことができたことに感謝申し上げます。おかげさまで保護者や児童から「とても英語が楽しかった」という声をいただいております。



英語の「力」伝えます！

具体的には、次の3つの視点から昨年10月より15回、英語教育支援をしていただきました。

- ① 4月、パサデナ市からの市民親善訪問団(4名)が上小学校を訪問され、活発な交流の機会を持ったことをきっかけに、「英語で話したい」という願いをもつ児童が増えた。
- ② 上地区の地域活性化を目指し上小学校が小規模特認校に指定されたことを契機に、英語教育を充実させたいという声が、地域をはじめ上小学校全体に広まった。
- ③ パサデナ市との交流の担い手である秦野パサデナ友好協会の目的の一つに「地域の子どもの国際感覚を育てる」があり、理念が一致した。

【担任や子どもたちの声】

- ・多彩な経験を持ったフレンドリーな講師の方々が話す英語を聞くことで、緊張せずに英語にふれる機会が飛躍的に増え、とてもよい刺激になった。
- ・わからない場合は、英単語をカタカナ表記でも可としたことで、子どもたちは安心して学び、新しい単語を知ることができた。そのことで、短い英文で、自分のことや上地区の良さを紹介することができるようになった。
- ・友だちが英語でどのような表現を考えたのかを知ることは、良い学びになった。
- ・映像や歌を英語で伝えることの楽しさに気づくことができ、また、英語で意思疎通ができることにより、自分の活躍できる世界が広がることを学べた。
- ・パサデナ市の生活の様子を知ることができ、アメリカやパサデナ市への親近感をもつことができた。



英語の「楽しみ方」伝えます！

子どもたちや保護者の皆さんの声を受け、引き続き秦野パサデナ友好協会にご支援・ご協力をお願いしたいと思っています。その中で、外部からの講師を招き、教職員のスキルアップのための研修や、担任と共につくる授業の実践を行っていきたいと考えています。

編集後記

昨年の桜の季節にはパサデナ市からの友人を迎え、今年1月は秦野の青少年がパサデナ市を訪問するという特別な年度になりました。そんな熱い思いをこの紙面からお伝えできたら嬉しいです。

新年度から、小学校でも外国語が教科になる年。子どもたちへの英語の広がりとともに、この会の輪もますます広がりますように！

(市川知代)